

令和5年度 第2回島根県国民健康保険運営協議会（概要）

日 時 令和5年12月25日（月）

14:00～16:00

場 所 島根県職員会館多目的ホール

■ 議事（1）第2期島根県国民健康保険運営方針（R6～R11）の策定について

◆ 事務局より説明

運営協議会として、第2期島根県国民健康保険運営方針（素案）について承認
（主な意見等）

- ・ 県から市町村に対して1人当たり医療費について説明されて、市町村はどのように捉えているのか。
- ・ 特定保健指導の実施率については、近年伸び悩んでいる。特定保健指導が機能していないと健診効果も出ない。県全体でレベルアップを図り、戦略的に実施していただきたい。
- 市町村の中でも医療費の高い市町はきちんと要因分析されている。市町村の担当者も保健活動を充実させる必要性を認識している。各市町村ではデーヘルス計画を策定し、住民の健康状態をデータ分析に基づいて確認し、健康課題を評価、共有しながら保健事業に取り組んでいくこととしている。特に、特定保健指導についてはハイリスク群への指導事業であり、しっかり実施しなければならない。
- ・ 医療費適正化の観点からも糖尿病の合併予防や重症化予防は重要であるため、人工透析の新規患者を減らすなどの目標値を持つと良いのではないか。
- 第4期医療費適正化計画との共通目標として、新規透析導入者割合を8.7人／人口10万人としている。

■ 議事（2）医療費等の分析について

◆ 事務局より説明

（主な意見等）

- ・ 地域において医療だけでなく、介護その他色々な方との連携が重要。